

「横須賀三浦地区発表」

講演者 横須賀三浦地区各高校生徒

1. 逗子葉山高校

「逗子葉山高校における交通安全教育に関わる活動について」

- ・逗子市内の小学校訪問、交通安全指導
子供達にも分かりやすい紙芝居を使ったり、京急バスに協力してもらい、バスの視覚体験を行った
- ・来年度やりたい事
小学生の登下校の見守り活動、本校の交通安全マナーの改善

2. 津久井浜高校

「登下校マナーを守ろうキャンペーン活動報告」

駅から学校までの道を広がって歩いてしまい、車も歩行者も危険なことから

- ・登下校のマナーアップキャンペーン（10月2～5日）を実施
- ・プラカードを持って、声がけしながら、注意を促す
改善されたが、キャンペーン後には元に戻ってしまうため、継続的な声掛け、校内でも危険箇所を告知していくことが大切

3. 三浦初声高校

「自転車の交通安全マナーをどれくらい守られているか」

- ・自転車の交通安全ルールについてアンケートを実施し、ヘルメット着用努力義務の認知度は高いが着用率は低いことなどが分かった
それらの問題を提起し、ルールやマナーへの意識付けを行った
今後は、個人、学校でも交通ルールやマナーを知る機会を持ちたい

4. 海洋科学高校

「海洋生による対話型交通安全教室」

- ・パペット（人形）、腹話術を使い少年とおばあちゃんが対話している形
- ・自転車通学におけるヘルメットの着用について着目
アンケートを取り、ヘルメットの着用努力義務の認知度が高いにもかかわらず、着用率の低さに注目し、その危険性と解決策（補助金など）について挙げた

5. 横須賀南高校

「横須賀南の登下校に関する意識調査」

- ・自転車通学におけるヘルメットの着用についてヘルメットの着用努力義務についての認知度が高いにもかかわらず、着用率が低い理由も調査（髪が崩れる等）→おしゃれより命が大事ということ伝えていきたい
- ・登下校中、危険を感じたことがあるか（トラブル）→ある
今後は歩行者も自転車通学者同様、全体の意識改革につなげたい

6. 横須賀大津高校

「交通安全について考えよう」

全国的にみた自転車による交通事故の中で、年代別に見た場合の高校生の事故の割合の高さに着目

- ・ルールを知っているかアンケートを実施
ヘルメットの着用努力義務の認知度は高いにもかかわらず、着用率の低さも指摘
他にもある程度のルールは認知されていても、実際の事故の怖さはわからない
まずはルールを知るところから
- ・スクエアドストレイトの感想

7. 横須賀高校

「北海道と横須賀の交通事情を探る！」

- ・研修旅行で訪れた北海道と地元横須賀の交通事情を比べ雪国ならではの標識の工夫などを説明
北海道に比べ横須賀では車両が多く、あちこちに駐車されている。私達も心に余裕を持ちルールを守らなければならない
- ・神奈川県警を招いて交通安全指導を行う活動も予定

8. 横須賀工業高校

「歩行者と自分を守る自転車マナー」

- ・どんな危険な運転や行為をすると法で罰せられるかについて
ヘルメット着用についてもアンケートを実施
危険な運転で、歩行者や自転車との接触してしまうという事故が多発していること、主に自転車でのスマホやイヤホン使用の危険性について発表

9. 追浜高等学校

「スタート神奈川活動報告」

- ・スタートかながわの推進モデル校、活動報告
入学式にセーフティカードを配布したり、登校時に警察の方達と一緒にビラ配りなどの活動を行った
- ・「歩きスマホやイヤホンの危険性」について、いろいろな視点から発表
イヤホンを使用すると視野が狭くなり周囲の状況や情報が少なくなる。見えなくなる
→一つ一つの行動に責任を持ちましょう！